

当院にご入院された患者さま及びご家族の方へ「第 6 回日本褥瘡学会実態調査」参加のお願い

当院は日本褥瘡学会実態調査委員会からの依頼を受け、入院された方を対象に「第 6 回日本褥瘡学会実態調査」に参加しております。この研究は、褥瘡実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得ることを目的に、多施設で行われる研究です。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用または提出されることを希望されない場合は、2026 年 10 月 31 日までに末尾に記載されている問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

第 6 回日本褥瘡学会実態調査研究

【研究機関及び研究代表者氏名】

研究機関 藤田医科大学

研究代表者 須釜淳子（藤田医科大学 保健衛生学部・教授／日本褥瘡学会・理事長）

【情報の収集・提供を行う機関名および責任者氏名】

伊東市民病院における情報の収集・提供のみ行います

責任者 看護部 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 佐藤留美

【研究期間】

承認日～2026 年 12 月 31 日

【対象となる方】

2025 年 10 月 1 日～10 月 31 日の間に当院に入院し褥瘡の治療を受けた方

【研究目的・意義】

日本褥瘡学会の実態調査委員会では、2026 年より全国調査を実施し、療養別の褥瘡有病率や有病者の特徴などを日本褥瘡学会誌等で報告しています。今回は、その後の褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的

なデータを得ることを目的に調査が実施されます。これまで調査対象に含まれていなかった、300床未満の病院を対象施設に含めることで、より現状に近い病院における褥瘡治療の質が明らかになります。

【研究の方法】

上記期間中の診療で、カルテに記載されている情報を収集して行う研究です。特に患者さんに新たに負担していただくことはありません。

◎調査項目：疾患名、年齢、性別、健康障害のレベル、日常生活自立度、要介護度、褥瘡発生原因、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡の病変の状態、使用している体圧分散寝具・用具・体位変換時間、栄養状態など

◎対象の方の人数：約20名

この研究のために褥瘡を有する療養患者さまに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記研究期間中に、調査対象患者さまに関するカルテ等から情報を収集し使用させていただきます。新たな診察や検査、アンケートの回答は必要ありません。

【特定されない将来の研究のための情報の使用・提供】

研究対象者から同意を受ける時点では、特定されない将来の研究のために用いられる可能性があります。例えば褥瘡医療の推移を検討する目的で、過去の調査で収集した情報と合わせて日本褥瘡学会またはその関連学会等と共同で解析される際に利用することが想定されます。その研究を行う場合は、改めて研究計画を倫理委員会において審査し、承認された後に行います。

【利用または提供を開始する予定日】

2026年11月1日～

【情報提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

藤田医科大学 学長 岩田仲生

【利益相反について】

本実態調査は、日本褥瘡学会からの調査費用で実施します

【問い合わせ先】

連絡担当者：佐藤留美

〒414-0055 静岡県伊東市岡169-1

伊東市民病院 看護部 電話番号:0557-37-2626